【2026 年度 防災と地域共生社会研修】

防災から地域共生社会を考える

～今、私たちにできる防災とは？　ミクロ･メゾ･マクロの視点から～

いつ起きるかわからない大災害。でもいつかは必ず起きる大災害。日本列島がおかれているそんな状況に対応するべく、2026 年 11 月 2 日、政府は防災庁を発足させました。

一方私たちの住む奈良県では、まだまだ災害に対する住民の危機意識は薄いのではないでしょうか･･･。そんな奈良県で大災害に備えるために、私たちソーシャルワーカーは、日常業務や日々の暮らしの中で何ができるのでしょうか？



今回の研修では《ミクロ》《メゾ》《マクロ》の３つの視点から防災につながる支援について考えます。

《ミクロ》担当している利用者が防災意識を高めるために何ができるか？
《メ　ゾ》担当している利用者が地域で孤立しないように、地域住民が防災意識を高め、気にかけ合う関係を形成するために、誰と連携し何をすればいいのか？
《マクロ》それらを可能にするために、どのような手段で何を行政などに働きかけていけばいいのか？

事例の検討を通して、まず、私たち自身の防災意識を問い直し、日頃の福祉的な利用者支援の延長線上で何ができるかを考えます。

日時　2027 年 1 月 10 日（日）　13:30～16:30

場所　奈良県社会福祉総合センター　5階　研修室B

定　員　50 名（先着順）

対　象　社会福祉士、介護支援専門員、相談支援専門員など
（行政、社協、福祉施設、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、相談支援事業所などの職員）

参加費　無料

プログラム　◆講義「災害に備える ミクロ・メゾ・マクロレベルのソーシャルワーク」
講師：奈良県社会福祉士会 地域防災推進委員会　植田 寿之
◆事例検討（事例の提示、グループ討議および発表）

参加申込　ＱＲコードからお申し込みください

申込〆切　2026 年 12 月 25 日（金）

問合せ先　pinestein-1879314@ezweb.ne.jp（松石）

主催　一般社団法人 奈良県社会福祉士会 地域防災推進委員会